



Japan Section

ANNUAL NEWSLETTER No. 2022-1

2022年度（2021.10.1 - 2022.9.30）ニュースレター第1号

March 30th, 2022

Contents

1. 寄稿／Contribution

吉井 久美子：ASCE 橋梁コンテストで Second Place Winner を受賞して
Kumiko Yoshii: "Winning The 2nd Place on ASCE Bridges Photo Contest"

2. 報告：2022年度第1回講演会開催／Report: Seminar No. 2022-1

3. 報告：2021年度総会開催／Report: Annual General Meeting for FY2021

- （1）総会概要／Overview of the Annual General Meeting
- （2）2021年度年間活動報告／Annual Activities for FY2021
- （3）2022年度年間活動計画／Annual Schedule for FY2022

4. 2022年度役員の紹介／Officers for FY2022

5. 編集後記／Editor's Notes

- （1）2022年度日本支部会費について／The Annual Due of Japan Section
- （2）お悔み／Condolences

1. 寄稿／Contribution

吉井 久美子：ASCE 橋梁コンテストで **Second Place Winner** を受賞して Kumiko Yoshii: “Winning The 2nd Place on ASCE Bridges Photo Contest”



吉井 久美子
ASCE 日本支部会員
一般財団法人 先端建設技術センター

Kumiko Yoshii
Member, ASCE Japan Section
Advanced Construction Technology Center

ASCE 主催の 2021 年橋梁写真コンテストに応募し、”All Bridge”部門で Second Place Winner を受賞いたしました。受賞した雷電廿六木橋（埼玉県秩父市）（写真 1）をはじめ、2021 年の全受賞作品は次の URL から見るすることができます。 <https://woobox.com/7p2r7v>

◆2021 年 ASCE 橋梁コンテストの概要

正式名称は”2021 ASCE Bridges Photo Contest”であり、2012 年に始まり、2021 年が 9 回目の開催で、コンテストの部門は次の 7 つに分かれています。今回受賞した All Bridges 部門の他に下記の 6 つの部門があり、合計 5 点まで応募することが可能です。

- All Bridges（受賞部門）
- Black and White
- High Dynamic Range
- Historic Bridges
- Pedestrian Bridges
- Small Town Bridges
- ASCE Student Member

2021 年は 20 カ国から 425 写真の応募があり、この中で All Bridges 部門への応募は 175 写真でした。2021 年までの 9 回を通じ、すべての部門の中で日本人初の受賞者となることができました。

◆受賞作品の撮影

受賞作品となった「雷電廿六木橋」（埼玉県秩父市・1999 年度土木学会田中賞受賞）の先にある栃本地区で、1 年ほど前から地域活性のためのボランティア活動（※1）に参加しています。初めて見たときから、曲線美の美しさ、スケールの大きさに圧倒され、いつか近くで撮影したいと思っていたものの、交通の不便さもあり、なかなか叶いませんでした。

撮影当日は、明け方まで降った雨の影響により、橋の全景をみることができないくらいの濃い霧が立ち込めていましたが、逆に幻想的で美しい景色を収めることができました。雷電廿六

本橋は、どんな天気でも、どこを切り取っても絵になる、魅力的な橋です。近くには滝沢ダムなどの見どころも多く、駐車場も完備しているので、ぜひ遊びに来てみてください。

※1 栃本ふるさとプロジェクト (<https://www.tochifusa.jp>)



写真1 コンテスト受賞作 雷電廿六木橋（埼玉県秩父市） 2020 年撮影

◆写真コンテストへの応募

毎年開催される建設技術審査証明協議会主催の新技术展示会（2021 年度は中止）のポスター・チラシに掲載する写真を数年前から担当しています（写真2）。ASCE 日本支部の方よりコンテストのお話をいただき、軽い気持ちでエントリーしたため、5月に受賞の連絡をいただいた英文メールも、スパムメールかと勘違いしたくらいです。受賞した作品は最後までエントリーするかどうか迷った1枚だったので、意外でもありました。

受賞自体も大変光栄なことですが、今回の寄稿のように受賞できたからこそその新しい経験や人とのつながりも、受賞と同じくらい貴重で素晴らしい財産となりました。

今回の件で、ASCE の写真コンテストに興味を持ち、日本からのエントリー数が増え盛り上がってくれば、非常に嬉しく思います。

このような機会を与えてくださった ASCE 日本支部をはじめ、受賞と一緒に喜んでくださった関係者の皆様に改めて感謝申し上げます。



写真2 碓氷第三橋梁（通称めがね橋）（群馬県安中市） 2016 年撮影



写真3 八角トンネル（熊本県下益城郡美里町） 2021 年出張時に撮影

2. 報告：2022年度第1回講演会開催／Report: Seminar No. 2022-1

On February 24th, 2022, ASCE Japan Section held a seminar with three lectures. The speakers were Prof. Shinri Sone of Toyo University, Dr. Kenji Yoshitake of Shimizu Corporation and Mr. Saburo Tsuchida of Shimizu Corporation. The number of participants was 47. The credit of the continuing professional development (CPD) of Japan Society of Civil Engineers was 2.2 hours (JSCE22-0225) for the participation.

2022年2月24日にWEB講演会を開催しました。講演者は、東洋大学情報連携学部教授の曾根真理氏、清水建設(株)技術研究所グループ長の吉武謙二氏、そして、同じく清水建設(株)土木国際支店土木第一部プロジェクトマネージャーの土田三郎氏でした。参加者は47名でした。本講演会は、土木学会 CPD 認定プログラム (JSCE22-0225、単位数 2.2 単位) でした。

講演1：「建設DXの現状と今後について」

Lecture 1: “The Current Status and Future of Digital Transformation of Construction”

講演者／Speaker：曾根 真理 氏、Prof. Shinri Sone
東洋大学 情報連携学部 教授

我が国の建設DXの現状及び建設DXを導入するにあたっての注意点等についてご説明いただくと同時に、建設DXを導入するにあたっては建設分野、情報分野両面の知見が必要なことを実例を交えて説明を行っていただきました。また、今後の建設DXの方向について、ご見解をいただきました。



Prof. Shinri Sone

講演2：「インフラDXに関する技術開発」

Lecture 2: “Research and Development of Digital Transformation in the Infrastructure Field”

講演者／Speaker：吉武 謙二 氏、Dr. Kenji Yoshitake
清水建設(株) 技術研究所 グループ長

清水建設の土木分野で進められているインフラ分野のDX技術に関して概説していただくと共に、発注者と施工者で協力して、計画、設計、施工、検査に関してICT技術を積極的に活用している川西工事や、配筋検査システムや3Dプリンターについて詳しく説明していただきました。



Dr. Kenji Yoshitake

講演3：「マニラ首都圏でのLRT車両基地の拡張および新設」

Lecture 2: “Expansion and construction of a new LRT depot in Metro Manila”

講演者／Speaker：土田 三郎 氏、Mr. Saburo Tsuchida
清水建設(株) 土木国際支店 土木第一部 プロジェクトマネージャー

マニラ首都圏の渋滞緩和の為にフィリピン運輸省がLRT1号線（軽量軌道交通）を延伸していることに伴い、追加される電車の維持メンテナンスに対応するために既存車両基地の拡張および新設の車両基地を建設する事になったプロジェクトについて紹介していただきました。



Mr. Saburo Tsuchida

3. 報告：2021年度総会開催／Report: Annual General Meeting for FY2021

On December 15th, 2021, ASCE Japan Section held the Annual General Meeting for FY2021.
2021年12月15日に2021年度ASCE日本支部総会を開催いたしました。

(1) 総会概要／Overview of the Annual General Meeting

■総会名称および年度期間

総会名称：2021年度ASCE日本支部総会

(2021年度期間：2020年10月1日～2021年9月30日)

■開催日時

2021年12月15日(水) 13:00～13:50

■開催場所

株式会社大林組 本社14階B-3会議室

(東京都港区港南2丁目15番2号 品川インターシティB棟)

■総会出席者

土橋 浩(副支部長)、中澤 直樹(副支部長)、浅田 素之(会計監査)、

佐々木 哲男(セクレタリー)

※任期中物故のため欠席：奥村 忠彦(副支部長)

■総会議事

総 会 議 事	担 当	時 間
1. 開会 Opening address	土橋 President	13:00
2. 2021年度活動報告 The Annual Activities Report for the fiscal year of 2020	佐々木 Secretary	13:05
3. 2021年度会計報告・監査報告 The Statement of Accounts for the fiscal year of 2020	浅田 Treasurer	13:20
4. 2022年度活動計画、活動体制 The Annual Activities Plan for the fiscal year of 2021	佐々木 Secretary	13:35
5. 閉会 Closing Address	土橋 President	13:50

注) 担当欄の役職は、2021年度のものの。

■決定事項

下記全ての議案が承認されました。

議案1 2021年度の活動報告、会計報告、2022年度の活動計画

議案2 日本支部会費の徴収について

2016年から支部会費(5,000円/年)の徴収を行っていない。当面これを継続する。

議案3 2022年度の役員について

2021年10月から下記役員体制とする。

支部長：土橋 浩、副支部長：中澤 直樹・浅田 素之

会計監査：浅田 素之(兼務)、セクレタリー：佐々木 哲男

(2) 2021年度年間活動報告／Annual Activities for FY2021

ASCE Japan Section Annual Activities for the Fiscal Year of 2021 (October 2020 – September 2021)

Implemented until December, 2021

活動項目 Activities	頻度	2020			2021												備考 Remarks
		10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
1.ASCE 本部への年次報告書 Annual Report to ASCE HQ	1回／年		●												●		ASCE 本部に web 提出
2.他団体との交流 JSCE, JPEC	随時																なし
3.ニューズレター Newsletter (英語／日本語)	2回／年							●									No. 2020-1, April 15th, 2020
4.講演会 Lecture	2回程度／年			●													2020年12月3日開催 加賀太木男氏、泉 史郎氏
5.現場見学会 Field Trip	1回程度／年																開催せず
6.総会 Annual General Meeting	1回／年			●												●	2020年12月3日開催 2021年12月15日開催
7.ASCE Annual Convention, Region 10 Meeting	1回／年																参加せず
8.ASCE 本部との交流 Exchange with ASCE HQ	随時									●							6月15日 Region 10 PGF (Zoom)
9.運営会議 (役員会) Steering Committee Meeting	1回／3ヶ月					●						●					2月5日 (Zoom) 8月6日 (Zoom)
10.学生活動支援 Student Activities	随時																なし
11.継続教育活動 Continuing Education	随時																なし
12.役員選出 Election Procedure	1回／2年																2021年10月 暫定役 員 (留任) 発足
13.会費徴収 Dues Payment	1回／年																当面徴収せず
14.会計報告 Financial Report	1回／年			●												●	総会で報告

凡例：●実施

(3) 2022年度年間活動計画／Annual Schedule for FY2022

ASCE Japan Section Annual Schedule for the Fiscal Year of 2022 (October 2021 – September 2022)

Planned December, 2021

活動項目 Activities	頻度	2021			2022												備考 Remarks
		10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
1.ASCE 本部への年次報告書 Annual Report to ASCE HQ	1回／年		●												○		ASCE 本部に Web 提出
2.他団体との交流 JSCE, JPEC	随時																
3.ニューズレター Newsletter (英語／日本語)	2回／年						○								○		
4.講演会 Lecture	2回程度／年					○								○			
5.現場見学会 Field Trip	1回程度／年																適時協議
6.総会 Annual General Meeting	1回／年			●										○			
7.ASCE Annual Convention, Region 10 Meeting	1回／年												○				運営会議で協議
8.ASCE 本部との交流 Exchange with ASCE HQ	随時									○							Region 10 PGF (Online) 故 奥村 元副支部長の特別功労賞 (DSM R10) への推挙
9.運営会議 (役員会) Steering Committee Meeting	1回／3ヶ月				○					○			○				役員参加
10.学生活動支援 Student Activities	随時					○								○			学生を講演会へ招待
11.継続教育活動 Continuing Education	随時					○								○			講演会、現地見学会を土木 学会 CPD 登録
12.役員選出 Election Procedure	1回／2年																新役員の選挙 (現役員は 2023 年 9 月まで任期)
13.会費徴収 Dues Payment	1回／年																会費の徴収は当面休止とす る
14.会計報告 Financial Report	1回／年			●										○			総会で報告

凡例：○予定、●実施

4. 2022年度役員の紹介／Officers for FY2022

ASCE Japan Section Officers for the Fiscal Year of 2022 (October 2021 – September 2022)

(1) PRESIDENT: Hiroshi Dobashi, Dr. Eng., A.M.ASCE Hiroshi Dobashi is the Executive Officer of Metropolitan Expressway Company Limited. He has been an Associate Member of ASCE since 2000. He is a Fellow of JSCE and a registered engineer. He obtained Bachelor's Degree in Civil Engineering from Yamanashi University in 1983 and Master's Degree in Civil Engineering from the University of Tokyo in 1985. He also obtained Master of Science from the University of California, Davis in 1992. He earned a doctorate at the University of Tokyo in 2008.	
(2) 1st VICE PRESIDENT: Naoki Nakazawa, Dr. Eng., A.M.ASCE Naoki Nakazawa is the President of Systems Engineering Associates Inc. and is also a staff at Advanced Construction Technology Center. He joined ASCE as a Student Member in 1986 and is now an Associate Member. He is a registered engineer. He holds a B.S. in Civil Engineering from Hokkaido University, an MS in Arctic Engineering from the University of Alaska Fairbanks and a Dr. Eng. from Hokkaido University in 1991.	
(3) 2nd VICE PRESIDENT / TREASURER: Motoyuki Asada, Dr. Eng., M.ASCE Motoyuki Asada is currently the Treasurer in the Japan Section. He is now the senior researcher at Institute of Technology, Shimizu Corporation, and a professional engineer of soil mechanics and foundation, Japan. He graduated from the University of Tokyo with a Master's Degree in Environmental Engineering in 1994. He also earned a doctorate at the University of Tokyo in 2003. He worked at Asian Institute of Technology (Thailand) in 2004 as a visiting lecturer.	
(4) SECRETARY: Tetsuo Sasaki, M. Eng. & M. Sci., A.M.ASCE Tetsuo Sasaki is the general manager of Business Administration Department in Civil Engineering Construction Division of Obayashi Corporation and is an Associate Member of ASCE. He holds a Bachelor's Degree in Transportation Engineering from Kyoto University in 1988, a Master of Engineering in Civil Engineering from University of Tokyo in 1990, and a Master of Science in Environmental Engineering from Carnegie Mellon University in 1999.	

5. 編集後記／Editor's Notes

(1) 2022年度日本支部会費について／The Annual Due of Japan Section

現在、ASCE 日本支部の収支残高（会員会費および ASCE 本部からの活動補助金の収入分と活動経費等の支出分の累積残高）に余裕があることから、2022 年度（2021 年 10 月 1 日～2022 年 9 月 30 日）を含め、当面、日本支部会費（5,000 円／年）の徴収は行いません。

(2) お悔み／Condolences

これまで長期にわたり ASCE 日本支部役員として活動に尽力していただきました奥村忠彦氏（2021 年度 ASCE 日本支部 副支部長）が去る 2021 年 5 月 9 日にご逝去されました。つつしんでお悔み申し上げます。葬儀に際して、ASCE 日本支部より供花させていただきましたこと、そして、2021 年度 ASCE President の Dr. Jean-Louis Briaud を始め、世界各国の ASCE 本支部関係者からお悔みのお言葉をいただきましたことをご報告いたします。

米国土木学会日本支部 2022年度ニューズレター第1号, 2022年3月30日.
ASCE Japan Section Annual Newsletter No. 2022-1, March 30th, 2022.